



健康ガイド

問 健康推進課(佐屋保健センター)
☎(28)5833

定期予防接種について

接種区分	対象者	回数	自己負担金	通知方法等	接種場所
高齢者の肺炎球菌ワクチン	①65歳の方 ②60歳以上65歳未満の者で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、または、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に1級程度の障害を有する方	1回	4,600円	対象者①は、65歳到達月の翌月初旬に個別通知 対象者②は、事前手続きが必要	海部管内(愛西市、津島市、弥富市、あま市、海部郡)の指定医療機関
高齢者の帯状疱疹ワクチン ※②、①いずれか一方	②「ビケン」 ①年度内に65歳となる方 ②60歳以上65歳未満の者で、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に1級程度程度の障害を有する方	1回	3,000円	対象者①・③は、令和8年3月末に個別通知 対象者②は、事前手続きが必要	
	①「シングリックス」 ③年度内に70、75、80、85、90、95、100歳となる方(経過措置による対象者)	2回	7,000円		
HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)	12歳となる年度の初日から16歳となる年度の末日まで(小学校6年生～高校1年生)の女子	2回 または 3回	無料	中学校1年生の女子に予診票を郵送	
RSウイルスワクチン	妊娠28週から37週までの方	1回	無料	母子手帳交付時に交付 ※一部郵送交付の方があります。	

愛知県広域予防接種事業について

定期予防接種について、海部管内の指定医療機関以外にかかりつけ医がいる場合や長期入院、里帰りなどの事情がある場合、海部管内以外の医療機関(愛知県内の接種協力医療機関)で接種を受けることができます。接種を受ける前に手続きが必要ですので、健康推進課へお問い合わせください。

妊娠を希望している方の風しんワクチン接種費用の助成について

妊娠を希望する女性で、風しんの抗体検査の結果、風しんの抗体が不十分と判断された方(経産婦、妊婦、接種歴・既往歴がある方を除く)を対象に、麻しん風しん混合ワクチンまたは風しんワクチンの接種費用の全部または一部を助成しています。

※愛知県の助成事業として、抗体検査にかかる費用の助成を受けることができます場合があります。

特別の理由による任意予防接種費用の助成について

骨髄移植手術その他の理由により、接種済みの定期予防接種の効果が期待できないと医師に判断され、任意による再接種を受ける方に対し、再接種に要する費用の全部または一部を助成しています。再接種を受ける前までに手続きが必要ですので、健康推進課へお問い合わせください。

予防接種について→



歯と口の健康講座

歯科健診について

みなさん、国民皆歯科健診という言葉を知っていますか？

2023年に政府が生涯を通じた歯科健診(国民皆歯科健診)に向けて取り組んでいこうと方針を打ち出したのです。

歯科健診には、1歳6ヶ月健診や3歳児健診等の保健所や各自治体の保健センターで行われるもの、保育園や幼稚園・小学校・中学校・高校などで行われる学校歯科健診、事業所が推進している診療所型歯科健診、市町村などが行う歯周疾患健診や妊産婦健診など様々なものがあります。なぜ歯科健診を受ける必要があるのでしょうか？

現在の歯科をとりまく状況としては、小児のむし歯はかなり減少して、むし歯にかかったことのない子が増えました。これは、フッ素を歯科医院で定期的に塗布したり、痛みのないときに歯科に定期的に通うのが一般的になったことが大きな理由です。

他方で2人に1人は中程度以上の歯周病に罹患していて、その割合はあまり改善していないといわれています。現在は半数位の成人が過去1年以内に歯科健診を受けていて、高齢者では歯科医院に定期的に通う方が増加してきている状況です。それにより8020運動(80歳

で20本以上自分の歯を保つ)達成者も半数を超えたといわれています。

歯科医院には痛みが出たときにだけ通うという考え方から、痛みがないときにも予防で定期的に通うという考え方にシフトしていくことが重要です。歯周病は生活習慣病と密接な関係があり、歯が健康な方は生涯において必要な医療費が少なく済むという研究論文もあります。つまり歯を健康に保つことが全身の健康に繋がるということです。

まずは口の中に症状がなくても1年に1回は健診を受けるように心がけましょう。そして、早期発見・早期治療(痛くない歯科治療)で済むようにしましょう。

(海部歯科医師会)

